

統一地方選に勝利し 売上税を粉碎しよう

統一地方選挙の告示が迫りました。三池労組はすでに福岡県知事選挙での奥田再選に向けて推薦を決めて取り組みを強めています。福岡・熊本両県の県議員、大牟田・荒尾両市の市議員候補、さらに福岡県高田町、熊本県代明町の町議候補の公認・推薦を決定しました。

福岡県議候補(推薦)

長谷川 為美(現)



〈略歴〉

昭和十二年十一月三十日生まれ、五十九歳。二十年三池中学校卒。二十五年大牟田市役所勤務。市職三。二十九三井三池鉱業学校卒。三池事務所入社。三池労組執行委員。大田評議局長を歴任。三十四年大牟田市議(二期)。四員、大田評議局長を歴任。五十二年福岡県議員(二期)。日本社会党大牟田総支部支部長。

大牟田市議候補(公認)

大橋 武彦(現)



〈略歴〉

昭和十年五月八日生まれ、五十一歳。大牟田市小浜町二丁目四の二。二十九三井三池鉱業学校卒。三池事務所入社。三池労組執行委員。大田評議局長を歴任。五十二年福岡県議員(二期)。日本社会党大牟田総支部支部長。

大牟田市議候補(推薦)

島 フミエ(現)



〈略歴〉

昭和五年四月十五日生まれ、五十六歳。大牟田市大字久福木六丁目十五の一。昭和三十三年熊本法律専門学校卒。三池労組執行委員。福岡県主婦の会会長などを歴任。三十四年大牟田市議(二期)。日本社会党大牟田総支部支部長。

熊本県議候補(推薦)

酒井 善為(前)



〈略歴〉

大正十二年十一月二十一日生まれ、六十三歳。荒尾市八幡台三丁目十五の一。昭和三十三年熊本法律専門学校卒。三池労組執行委員。福岡県主婦の会会長などを歴任。三十四年大牟田市議(二期)。日本社会党大牟田総支部支部長。

荒尾市議候補(公認)

前川 哲也(現)



〈略歴〉

昭和十五年四月五日生まれ、四十六歳。荒尾市緑ヶ丘小幡町三十五。三十四年福岡県立大牟田南高校卒。三十四年三池鉱業所入社。三池労組中央委員、書記次長を歴任。五十八年荒尾市議(一期)。日本社会党荒尾総支部支部長。

荒尾市議候補(推薦)

坂本 敏雄(現)



〈略歴〉

昭和四年一月十日生まれ、五十三歳。荒尾市中央東十七班の二。十六年大牟田市立青年学校卒。三池事務所勤務。三池労組中央委員、教習部長を歴任。三十四年荒尾市議(七期)。日本社会党荒尾市議団員。

荒尾市議候補(推薦)

福川 次郎(現)



〈略歴〉

大正二年十一月三日生まれ、七十三歳。荒尾市桜山町三丁目二の四。昭和三年大牟田市立三小小学卒。八年三池愛護組合員。同年三池労組中央委員などを歴任。三十四年荒尾市議(八期)。日本社会党。

荒尾市議候補(推薦)

蒲池 哲夫(現)



〈略歴〉

昭和十五年一月二十日生まれ、四十七歳。荒尾市打越一〇七三番地。三十四年熊本県立山鹿高校卒。同年三池労組中央委員などを歴任。三十四年荒尾市議(八期)。日本社会党。

荒尾市議候補(推薦)

梶島 博明(新)



〈略歴〉

昭和六年十月十八日生まれ、五十五歳。荒尾市本井一六〇〇向日美町四。三十二年福岡県立大牟田南高校定時制卒。三池鉱業所勤務。三池労組中央委員、荒尾地評事務局長を歴任。日本社会党荒尾総支部支部長。

荒尾市議候補(推薦)

西村 政之(新)



〈略歴〉

大正十五年七月十三日生まれ、六十歳。荒尾市大和区一九九〇番地。昭和十七年熊本県立名教員養成所卒。二十二年三池鉱業所入社。三池労組本所支部組織部長をつとめる。日本社会党荒尾総支部中央支部長。中央校区協議会会長。

高田町議候補(推薦)

近藤 新一(新)



〈略歴〉

昭和二十年一月十二日生まれ、四十二歳。三池郡高田町大字田尻四三番地。三十八年福岡県立伝習館高校卒。同年西日本鉄道入社。西鉄労組中央委員、久留米支部役員、京町分会会長などを歴任。日本社会党。

代明町議候補(推薦)

手島 賢二(現)



〈略歴〉

昭和十八年十月十三日生まれ、四十三歳。玉名郡代明町三崎二七の二。三十五年荒尾第二中学校卒業。同年九電社員養成所入社。全九電玉名分会委員長などを歴任。五十四年代明町議(二期)。日本社会党玉名総支部支部長。

第二期革新県政めざし政策発表 奥田再選へ総決起

福岡県知事選挙の告示まであと一週間と迫りました。公約違反の売上税問題を大争点としながら、財界・大企業本位の保守県政が、県民に開かれた清潔な県民本位の革新県政が問われる選挙戦は全国注視の激戦となつていますが二月二十八日、福岡市と北九州市で「奥田八二政策発表の集い」が開かれました。

二つの決意

一、躍進する新しい福岡をめざして

八つの約束

一、技術立県と新しい職業能力の開発

売上税導入・産業空洞化など県勢浮揚をはむ諸潮流をのりこえ、九州のリーダーとして「福岡県21世紀へのプラン」をめざす躍進する新しい福岡県づくりに県民とともに全力をつくします。

住民の創意、中小企業など地元企業の技術集積、新しい職業能力の開発、産・学・官協力等をよりどころに技術立県を著実にすすめて、北九州・大牟田・筑豊の活性化と雇用不安の解消をはかります。

二、県政浄化の徹底と県民参加の拡充

二、人生八十年代の医療と福祉、生きがいの基盤づくり

三、21世紀を拓く人づくりと学習の場の拡充

四、農林漁業の活性化と経営の安定、後継者の確保



五、県民みんなの文化・スポーツ・余暇活動

六、農山漁村と都市部の人々の交流と円滑な交通の確保

「県民参加の県政を軌道に乗せたい」と決意表明

七、男女共同社会への取り組みと青年の自立と成長への支援

八、平和のためのためめ努力と国際交流の推進

